

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立博物館協議会				
事務局 (担当課)		生涯学習部博物館 電話 0 4 2 - 7 5 0 - 8 0 3 0				
開催日時		令和 2 年 2 月 1 3 日 (木) 午前 1 0 時 ~ 正午				
開催場所		博物館小会議室				
出席者	委員	9 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	5 人 (博物館長他 4 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 委嘱状交付 2 あいさつ 3 委員自己紹介 4 議題 (1) 会長及び副会長の選出 (2) 博物館協議会の概要、活動内容について 資料 1、2 (3) 相模原市立博物館活動評価書について 資料 3 (4) 今後の予定について 資料 4、5 (5) その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 経 過

委嘱状交付後、兼杉館長のあいさつに続いて、各委員の自己紹介、学芸班職員の自己紹介を行なった。

館長司会のもと、(1)会長及び副会長の選出まで議事が進められた。両職選出ののち、(2)以降の議事については、会長に選出された岩野委員の進行により進められた。

2 議 題 (は委員の発言、 は事務局の発言)

(1) 会長及び副会長の選出

委員の互選により、会長に岩野委員(1期目)、副会長に吉川委員(1期目)が選出された。

(2) 博物館協議会の概要、活動内容について

事務局から、博物館協議会の概要、及び、活動内容について配布資料に基づき説明を行った。

第8期以降はなぜ博物館の活動評価についてしか審議していないのか。他の事項については審議できないのか。

博物館の活動評価が協議会の審議の中心になっているが、必要に応じてそれ以外についてもご意見をいただきたい。

協議会の役割は館長からの諮問に対して答申することである。

博物館活動を評価する方法としては、協議会の中にいくつかの部会を設けて、その部会の一つで博物館評価を審議している博物館もある。

委員からの意見をどう反映していくのか、今後、協議会の議事をどのように進めていくのかを、事務局にも考えてほしい。

(3) 相模原市立博物館活動評価書について

事務局から、相模原市立博物館活動評価書について配布資料に基づき説明を行った。

博物館活動評価書は3年ごとに作成するのか。

3年ごとに作成する。協議会委員の任期と一致しないので、評価書を作成しない時期の委員には、任期中の博物館活動に関するコメントをいただいている。

評価書の作成はなぜ3年ごとなのか。

相模原市の各機関で3年ごとに評価を実施しているのので、その期間に合わせた。

過去の評価書も参考にしながら、博物館活動評価を進めていただきたい。

(4) 今後の予定について

事務局から、今期の予定について配布資料に基づき説明を行った。

第12期の委員からは博物館活動評価に関するコメントだけではなく、様々な意見をいただいた。館長からの諮問に対する答申では、諮問されていない事項への答申はできないが、博物館の活動評価書ということであれば、様々な意見をいただくことができる。資料3のような評価書を作成することが今期の大きな目標である。

第12期の委員がコメントしている項目は事務局から提示されたものか。

コメントする項目は事務局が提示をしたものである。

第12期の委員からの質問や要望への回答はなされているのか。

具体的な対応についてまとめてはいないが、第12期第6回の協議会で各委員のコメントに対して事務局が発言し、議事録に残してある。

第12期第6回の協議会議事録は共有した方が良いのでは。

次回の協議会の時に配布する。また、相模原市のホームページでも議事録は公開されているので、今後はリンク先の明示など、わかりやすく共有できるようにしたい。

評価を受けて、博物館がどう対応するのが重要。評価書を作成するだけでなく、それを活用していく方策を検討してほしい。

これまでも協議会でいただいた意見は、博物館活動に反映してきた。評価書と合わせて、意見書としていただくことも可能である。いただいた意見を今後の活動に反映してよりよい博物館としていきたい。

協議会委員からの意見に対して、実現の可能性について、具体的な回答をわかりやすい形で提示してほしい。

前回の評価項目について実際にどれくらい実現できたのかを、公表してほしい。対応した事項については議事録に記録されているので、それを参考にしながら、評価の議論を進めてほしい。

評価コメントに述べられている要望に対してどのような取り組みをしたのか。

評価コメントに対する取り組みについては、今期の委員の皆様にも共有していただき、今後の協議会で議論していただきたい。

次回の協議会では過去の活動実績や令和2年度の活動予定を説明してもらえるのか。

第2、3回は、博物館の全体像を把握していただくため、展示室だけでなく、バックヤードや機械室も含めて施設見学を実施するほか、企画展の見学も行う。これらを通じて、博物館の評価につなげていただきたい。次回は令和元年度の年報に基づいて、活動を説明、令和2年の事業予定を説明する。3ヶ年の評価書の作成も合わせて進めていきたい。

随時、プラネタリウム番組も含めて教育普及事業についてご案内をさせていただくので、実際に活動をご覧いただき、博物館の取り組みをご理解いただきたい。

開館以来25年間、常設展示室の改修が全くなされていない。協議会で展示室改修の後押しをしていきたい。常設展示や設備改修も国からの補助金等で該当するものがある。常設展示の改修を進めるべきである。

(5) その他

事務局から、今年度中に開催予定の教育普及事業について説明を行った。

次回は6から7月の開催予定である。

以 上

相模原市立博物館協議会委員出欠席名簿

No	氏 名	備 考	選出区分	出欠席
1	沼澤 俊宏	市立内郷小学校校長	学校教育	出席
2	五十里 雅子	県立弥栄高等学校副校長	同	欠席
3	戸塚 厚生	市文化財研究協議会会長	社会教育	出席
4	林 さとみ	市立小中学校 PTA 連絡協議会副会長	同	出席
5	吉川 恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	家庭教育の向上に資 する活動を行う者	出席
6	岩野 秀俊	日本大学特任教授	学識経験者	出席
7	浜田 弘明	桜美林大学教授	同	出席
8	生田 ちさと	宇宙科学研究所准教授	同	出席
9	遠藤 正典	市の住民	市民公募	出席
10	谷内 尋賀子	市の住民	同	出席